

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	看護師課程選択必修、保健師課程自由選択
担当教員			
◎大久保明子、石田和子、原等子、関睦美、加藤明美			
添付ファイル			

授業種類 【開講】 後期 【授業時間】 15時間 【担当教員】 <table border="0"> <tr> <td>【氏名】</td><td>【研究室】</td></tr> <tr> <td>大久保 明子</td><td>207</td></tr> <tr> <td>石田 和子</td><td>317</td></tr> <tr> <td>原 等子</td><td>303</td></tr> <tr> <td>関 睦美</td><td>301</td></tr> <tr> <td>加藤 明美</td><td>愛知県医療療育総合センター中央病院</td></tr> </table> 実務経験がある教員が担当します 【本学の科目区分】 専門科目 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程 【D P 1】 【D P 2】 【D P 3】 【D P 4】 【D P 5】 【D P 6】 【D P 7】 ◎ ○	【氏名】	【研究室】	大久保 明子	207	石田 和子	317	原 等子	303	関 睦美	301	加藤 明美	愛知県医療療育総合センター中央病院
【氏名】	【研究室】											
大久保 明子	207											
石田 和子	317											
原 等子	303											
関 睦美	301											
加藤 明美	愛知県医療療育総合センター中央病院											

到達目標	1. 看護の対象に家族を含む意義および、家族に対する看護者の基本的態度を説明できる。 2. 家族を看護する上で基本となる理論の概要を理解する。
授業概要	家族が看護の対象であることの意義、家族看護学の基盤となる理論、家族看護過程などの基本的な知識を習得し、発達や状態に応じた家族看護の援助方法を学ぶ。
授業計画	1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：現代家族の動向と課題 学習内容：家族の構造・形態・機能 現代家族の様相と課題 家族の概念 備考：大久保 2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：家族を理解するためのアセスメントと基礎理論 学習内容：家族アセスメントの方法、家族アセスメントモデル、家族発達論、家族システム論、家族ストレス対処理論 備考：加藤 3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：家族支援専門看護師の役割、家族看護の課題 学習内容：家族支援専門看護師の看護実践 備考：加藤 4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：すまいで療養する児・者をもつ家族への支援 学習内容：家族生活力量モデルを用いた家族看護の展開 備考：関 5 授業内容 授業形態：対面 学習課題：入院治療を受ける病児をもつ家族への看護 学習内容：渡辺式家族アセスメント/支援モデルを用いた家族看護の展開 備考：大久保 6 授業内容 授業形態：対面 学習課題：治療を受けるがん患者の家族への看護 学習内容：カルガリー家族アセスメントモデルを用いた家族看護の展開 備考：石田 7 授業内容 授業形態：対面

	8 学習課題：高齢者とその家族の関係と介護家族支援 学習内容：介護負担・肯定感、エンパワメント理論を用いた家族看護の展開 備考：原 授業内容 授業形態：グループワーク 対面 学習課題：家族看護のまとめ 学習内容：家族との援助関係形成と支援 備考：大久保
事前・事後学習	事前学習：既習の授業の中で家族や家族看護について学んできたことを振り返る。 事後学習：各講義で示された課題についてまとめる。
評価方法、評価基準	課題レポート（100%）で、到達目標1・2の到達度を評価する。 課題レポートのテーマ、およびレポート評価基準は講義時に説明する。
必携図書	特に指定しない。
参考図書・資料等	上別府圭子他「系統看護学講座 別巻 家族看護学」医学書院 その他は各講義内で提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	20分以上の遅刻や退室は欠席とする。2/3以上の出席（6コマ以上）がないと、成績評価の対象としない。 課題レポートでの評価であるため再試験は行わない。
教員からのメッセージ	家族全体を対象として捉えた支援について学びます。看護師課程の選択科目ですが、保健師課程を希望する学生さんも是非選択してください。
オフィスアワー	